

愛媛大学プロテオサイエンスセンター 第7回学術シンポジウム

難病のプロテオ医学研究2020

Cell Growth, Replication Stress and Genomic Instability in Cancer

日時：令和2年 2月15日(土) 13:00~17:15
場所：愛媛大学医学部創立40周年記念講堂

プログラム

- 13:00-13:05 挨拶 愛媛大学 理事・副学長(学術・環境担当) 宇野 英満
- 13:05-13:50 「前立腺がんで見られるSPOP遺伝子変異とDNA複製ストレス」
愛媛大学プロテオサイエンスセンター 教授
愛媛大学大学院医学系研究科 教授 東山 繁樹
- 13:50-14:35 特別講演Ⅰ
「難治性DNA損傷をもたらす疾患発症の分子機構」
京都大学大学院医学研究科 准教授 笹沼 博之
- 14:35-15:20 特別講演Ⅱ
「複製ストレス抑制因子SLFN11によるDNA障害型抗がん剤感受性の
増強メカニズム～More SLFN11 More Drug Sensitivity～」
慶應義塾大学先端生命科学研究所 特任准教授 村井 純子
- 15:20-15:40 ～ 休憩 ～
- 15:40-16:25 特別講演Ⅲ
「老化細胞の代謝特性とsenolysisによる加齢性変化の改善」
東京大学医科学研究所 教授 中西 真
- 16:25-17:10 「小児白血病の発症と進展」
愛媛大学大学院医学系研究科 教授 江口 真理子
- 17:10-17:15 閉会の挨拶 愛媛大学プロテオサイエンスセンター長 坪井 敬文

シンポジウム終了後に写真撮影および情報交換会を予定しています。

本シンポジウムは「大学院特別講義」に認定されています。医学系研究科大学院生は、当日配布されるレポート用紙に講義概要等を記述し、提出してください。4点満点で採点されます。